

正誤表（現況分析（教育））

52：京都大学

No.	現況分析単位 (学部・研究科等)	頁数	誤	正	修正事由
01	3_教育学部	p.10	…「ある程度身についた」と回答している。であった。また…	…「ある程度身についた」と回答している。 であった。 また…	誤植のため削除
02	4_教育学研究科	p.4	…身に付けることである。これらの能力の取得により、学際的で…	…身に付けることである。これらの能力の <u>修得</u> により、学際的で…	文言修正
03	7_経済学部	p.4	高度な専門教育充実の一環として、早期な研究者養成、	高度な専門教育を充実 <u>させるため、早期</u> 研究者養成、	文章をわかりやすくするため
04	7_経済学部	p.4	学部教育と大学院教育の接続を目指して、	学部教育と大学院教育の接続を <u>通じて、</u>	文言の重複があったため
05	7_経済学部	p.4	4回生時から大学院の講義受講・研究指導を受けることができ、	4回生時から大学院の <u>講義・研究</u> 指導を受けることができ、	文言の重複があったため
06	7_経済学部	p.5	全学生を主として学部又は学科を単位にしてブロックに区別して、	全学生を <u>学部</u> 又は <u>学科単位にブロックに区別し、</u>	文章をわかりやすくするため
07	7_経済学部	p.5	それぞれのクラス指定科目の曜時限が重複しないようにするとともに、選択科目を配置する曜時限を確保してそれとも重複しないようにし、	<u>クラス指定科目や選択科目との重複を避け、</u>	文言の重複があったため
08	7_経済学部	p.6	みずほファイナンシャルグループ	みずほ <u>フイ</u> ナンシャルグループ	誤字があったため
09	7_経済学部	p.10	行ており	<u>行</u> っており	誤字があったため

正誤表（現況分析（教育））

10	7_経済学部	p.12	行ない	<u>行い</u>	誤字があったため
11	7_経済学部	p.12~13	みずほファイナンシャルグループ	みずほ <u>フイ</u> ナンシャルグループ	誤字があったため
12	7_経済学部	p.13	4 回生時から大学院の講義受講・研究指導を受けることができ	4 回生時から大学院の <u>講義</u> ・研究指導を受けることができ、	文言の重複があったため
13	7_経済学部	p.14	2019 新入生の入門ゼミ	2019 <u>年度</u> 新入生の入門ゼミ	脱字があったため
14	7_経済学部	p.14	4 回生時から大学院の講義受講、研究指導を受けることで、	4 回生時から大学院の <u>講義</u> ・研究指導を受けることで、	文言の重複があったため
15	7_経済学部	p.15	4 回生時から大学院の講義受講、研究指導を受けることで、	4 回生時から大学院の <u>講義</u> ・研究指導を受けることで、	文言の重複があったため
16	7_経済学部	p.16	「総合評価」「一般教養」「基礎知識」でほぼ 90%、「自立性を尊重している」でほぼ 85%、「専門知識の活用能力」でほぼ 80%、「倫理観」でほぼ 75%となっており、	「総合評価」「一般教養」「基礎知識」で <u>約</u> 90%、「自立性を尊重している」で <u>約</u> 85%、「専門知識の活用能力」で <u>約</u> 80%、「倫理観」で <u>約</u> 75%となっており、	誤字があったため
17	9_理学部	p.4	その一助として、1, 2 回生において	その一助として、1, 2 <u>年次</u> において	表記ゆれのため
18	9_理学部	p.6	チューターとして学部 1・2 年生の	チューターとして学部 1・2 <u>年次</u> の	表記ゆれのため
19	9_理学部	p.6	新入生から 4 年生まで	新入生から 4 <u>年次</u> まで	表記ゆれのため
20	9_理学部	p.7	1、2 回生及び系未登録の 3 回生に関して	1、2 <u>年次</u> 及び系未登録の 3 <u>年次</u> に関して	表記ゆれのため

正誤表（現況分析（教育））

21	9_理学部	p.8	1、2回生の成績配布については	1、2 <u>年次</u> の成績配布については	表記ゆれのため
22	9_理学部	p.9	2020年度には予備教育を終えた4名の留学生が入学	2020年度には予備教育を終えた <u>3</u> 名の留学生が入学	実際に入学者した人数との齟齬があるため
23	10_理学研究科	p.6	大学院共通科目「研究倫理・研究公正」	大学院共通科目 <u>群科目</u> 「研究倫理・研究公正」	正式な名称に変更のため
24	10_理学研究科	p.9	最近の3年間に取り上げたテーマ	最近の <u>4</u> 年間に取り上げたテーマ	文中で4年間分のテーマを取り上げているため
25	10_理学研究科	p.9	大学院教務委員会	大学院 <u>教育</u> 教務委員会	正式な名称に変更のため
26	10_理学研究科	p.9	大学院教育・常任委員会	<u>大学院教育常任委員会</u>	正式な名称に変更のため
27	10_理学研究科	p.10	保険数学専攻	保険数学 <u>分野</u>	表現が適切でないため
28	15_工学部	p.8	また、キャンパス内に設置している大型LEDビジョン	また、 <u>桂</u> キャンパス内に設置している大型LEDビジョン	脱字があったため
29	15_工学部	p.10	中学校、高等学校等の	中学校、 <u>高校</u> 等の	他の箇所の記載と統一するため
30	15_工学部	p.11	100%の受講率となっている	100%の受講率となっている。 <u>。</u>	脱字があったため
31	15_工学部	p.13	工学部卒業生(平成30年度983名)のうち	工学部卒業生(<u>平成30年度983名</u>)のうち	他の箇所の記載と統一するため
32	16_工学研究科	p.3	問題発見型学習(FBL)と問題解決型学習(PBL)型の演習も新設して、	問題発見型学習(<u>FBL</u>)と問題解決型学習(<u>PBL</u>)型の演習も新設して	他の箇所の記載と統一するため
33	16_工学研究科	p.4	(以下、「連携プログラム」という)	<u>(以下、「連携プログラム」という)</u>	他の箇所の記載と統一するため

正誤表（現況分析（教育））

34	16_工学研究科	p.5	TA(主に留学生)を配置し、	TA(主に留学生)を配置し、	他の箇所の記載と統一するため
35	16_工学研究科	p.5	本学における ICT を活用した教育プログラムの推進を担う高等教育研究開発推進センターとの協力のもと、	本学における ICT を活用した教育プログラムの推進を担う高等教育研究開発推進センターとの協力のもと、	誤字があったため
36	16_工学研究科	p.5	従来の研究分野の枠組に囚われない学際研究を重視した「融合工学コース」を7分野（応用力学、物質機能・変換科学、生命・医工融合、融合光・電子科学創成、人間安全保障工学、デザイン学、総合医療工学）を置いており、	従来の研究分野の枠組に囚われない学際研究を重視した「融合工学コース」に7分野（応用力学、物質機能・変換科学、生命・医工融合、融合光・電子科学創成、人間安全保障工学、デザイン学、総合医療工学）を置いており、	誤字があったため
37	16_工学研究科	p.6	開講期の成績確定前に成績評価に関する異議申し立てできる制度を設けている。	開講期の成績確定前に成績評価に関する異議申し立てが が できる制度を設けている。	脱字があったため
38	16_工学研究科	p.8	寄付によって設立した脇坂基金	寄附によって設立した脇坂基金	誤字があったため
39	16_工学研究科	p.9	ドルトムント工科大学の院生約 10 名と京大・神戸芸工大の学生	ドルトムント工科大学の大学院生約 10 名と京都大学・神戸芸術工科大学の学生	脱字があったため
40	16_工学研究科	p.9	近隣にある府立高校と	近隣にある府立高校(京都府)と	他の箇所の記載と統一するため
41	16_工学研究科	P.9	中学校、高等学校等の	中学校、高校等の	他の箇所の記載と統一するため

正誤表（現況分析（教育））

42	16_工学研究科	p.9	なお、膳所高校（滋賀県）や高津高校（大阪府）には、	なお、膳所高校 （滋賀県） や高津高校 （大阪府） には、	前述のため
43	16_工学研究科	p.9	近畿大学附属和歌山高等学校の1年生40名	近畿大学附属和歌山 <u>高校（和歌山県）</u> の1年生40名	他の箇所の記載と統一するため
44	16_工学研究科	p.9	近藤輝幸研スタッフ・院生と昼食	近藤輝幸 <u>研究室</u> スタッフ・ <u>大学院</u> 生と昼食	脱字があったため
45	16_工学研究科	p.9	兵庫県立豊岡高等学校 SSH プログラム	<u>豊岡高校（兵庫県）</u> の SSH プログラム	他の箇所の記載と統一するため
46	16_工学研究科	p.10	院生・学部生およそ5～6名が	<u>大学院</u> 生・学部生およそ5～6名が	脱字があったため
47	16_工学研究科	p.10	毎年構成員の3分の1以上にあたる	<u>毎年</u> 構成員の3分の1以上にあたる	前述のため
48	16_工学研究科	p.13	博士課程では404件であった。	博士 <u>後期</u> 課程では404件であった。	脱字があったため
49	16_工学研究科	p.15	その結果、9か国19チーム参加の中で優勝（経済産業大臣賞・賞金1000万円）し、	その結果、9か国19チーム参加の中で優勝（ <u>経済産業大臣賞・賞金1000万円</u> ）し、	他の箇所の記載と統一するため
48	26_地球環境学舎	p.8	2017年度にはマヒドン大学（タイ）、ボゴール農業大学（インドネシア）と、2018年度には清華大学（中国）とダブル・ディグリー制度を締結した。	<u>2016</u> 年度にはマヒドン大学（タイ）、ボゴール農業大学（インドネシア）と、2018年度には清華大学（中国）とダブル・ディグリー制度を締結した。	マヒドン大学及びボゴール農業大学との締結は2017年度ではなく2016年度が正しいため。
50	26_地球環境学舎	p.9	国際共同学位プログラムとして、2017年度にはマヒドン大学（タイ）、ボゴール農業大学（インドネ	国際共同学位プログラムとして、 <u>2016</u> 年度にはマヒドン大学（タイ）、ボゴール農業大学（インドネ	マヒドン大学及びボゴール農業大学との締結は2017年度ではなく2016年度が正しいため。

正誤表（現況分析（教育））

			シア）と、2018年度には清華大学（中国）とダブル・ディグリー制度を締結した。	シア）と、2018年度には清華大学（中国）とダブル・ディグリー制度を締結した。	
--	--	--	---	---	--